

第27回党大会に参加して

日本共産党鶴岡地区委員長 佐藤 誠一

1月15日～18日まで
熱海市で開催された日
本共産党第27回党大会
に参加させていただき
ました。

共闘が後戻りするこ
とができないところ
にきている

私が若い頃に夢みた
ことが現実のものとな
り、野党と市民の共闘

1月15日～18日まで
庄巻は3野党・1会
派の代表の心のこもっ
た挨拶を聴き、約10
00人が万雷の拍手で
応えたときの光景は感
動的でした。

が後戻りすることがで
きないところに来ている
ことを実感しました。
日本共産党綱領に書
いてある「統一戦線」
の方針が日本政治に大
きな影響力を与えてい
ることを肌で感じまし
た。鶴岡地区でも昨年

党史上

共産党第27回大会

共闘が前進

野党市民



「団結がんばろう」をする野党党首。左から系数慶子・「沖縄の風」代表、安住淳・民進党代表代行、志位和夫・日本共産党委員長、小沢一郎・自由党代表、吉田忠智・社民党党首（「しんぶん赤旗日曜版」1月22日号紙面より引用）

舟山康江さんが大差で
勝利したことにみられ
るように、「1111」
2以上の力」を発揮し
ました。

大事にして、とりわけ
労働者・青年の分野で
党勢倍加・世代的継承
をめざしていきたいと
思います。

野党と市民のみなさ
んが共同のとりくみを
する中で、お互いに心
底仲良くなり、それぞ
れの殻を破っていった
という発言が多くあり
ました。新潟県をはじ
め畿人からは「一献傾
けながら」語りあって
絆を深めたとのことで
した。

山形県最北地区の矢
口廣義代議員は目標達
成にむけた執念で党員
を増やした経験を語り、
感動的でした。

大阪府・最北地区の
党員拡大経験に感
銘

今後、共同の力によ
って社会を発展させて
いく上で、「一歩一歩
階段を上る」如く選挙
で国の行方を決めてい
くという綱領の精神を
分かりやすく伝える力
（伝達力）を磨きたい
と思いました。

大阪府の代議員は、
これまで支持をいただ
いた方に敬意をこめな
がら党への意見をよく
お聴きし、ちょっぴり
勇気を出して入党をお
薦めしたところ快く返
事をいただいた例が多
数あることを報告しま
した。このように敬意
（リスパクト）をこめ
た対応を日常のすみず
みまで徹底することを

来る市長・市議選、
衆院選での共同強化
と党躍進を

今年の三川町議選
（2月）、鶴岡市長選
・市議選（10月）、来
る衆議院選では、「野
党と市民の共同強化と
日本共産党の躍進の二
つ」を一体的にすすめ
ることを胸に刻みなら
鶴岡に帰ってきまし
た。

市議会3月定例会日程（予定）

※開会時刻は10：00です。

- 3月1日（水）本会議（開会、提案説明、総括質問）
- 2日（木）予算特別委員会
- 3日（金）本会議（一般質問）
- 6日（月）本会議（一般質問）
- 7日（火）本会議（一般質問）

共産党市議団（最後）

- 8日（水）本会議・予算特別委員会
- 9日（木）常任委員会（総務）
- 10日（金）常任委員会（市民文教）
- 13日（月）常任委員会（厚生）
- 14日（火）常任委員会（産業建設）
- 22日（水）予算特別委員会
- 23日（木）本会議（閉会）

※請願の締め切りは、2月23日（木）13時

都市再興基本計画を答申

第2回市都市計画審議会

24日、平成28年度第2回鶴岡市都市計画審議会（植木勝司会長）が市役所で行われまし

た。審議会では、鶴岡市都市再興基本計画について審議し、一部加筆・字句修正を加えた上で承認し鶴岡市長に答申することを決めました。

また、鶴岡市の中心市街地の活性化に向けての意見交換を行いました。

加藤太一市議が委員として出席しました。

市民生活圏を中心に部に集約する「コンパクトシティ」掲げる

「鶴岡市都市再興基本計画」は、まちづくりの指針である市の「都市計画マスタープラン」となるもの。また市街化区域については「立地適正化計画」を位置づけています。

まちづくりの基本理念には、「先端研究産業や中核産業で新しいまちを磨き、住環境の循環によりまちを再編するコンパクトシティ鶴岡」として、産業は

「バイオに特化し、市民の生活圏を中心部に集約してコントロールする「コンパクトシティ」を掲げています。

「将来都市構造」では、中心拠点として、

官庁街の再整備（荘内病院跡地の国の第2合同庁舎）、鶴岡公園周辺整備、中心商店街の活性化、ランドバンク事業、住み替え世代毎の居住サイクルに対応した居住環境の整備をあげています。

さらに、北部サイエンスパークと茅原区画整理地区を「北部拠点」に位置づけ、商業施設や子育て支援施設など利便施設等の集積を進めるとしています。旧町村の役場周辺地

区は地域の拠点として位置づけ、路線バスや地域主体の公共交通で中心拠点などと結ぶとしています。

中心市街地は、江戸末期までに形成された21町丁目の「中心住宅地」は高齢化し、高度成長期に開発された20町丁目の「新興住宅地」や、バブル期以降に開発された22町丁目の「新住宅地」に、郊外などから人の流れが進みました。

市街化区域の「立地適正化計画」では、居住誘導区域として①中心住宅地と新興住宅地、②茅原北地区と北部サイエンスパーク地区とし、中心市街地への住み替え促進や、人口流出の防止を図るとしています。

居住誘導で地域コミュニティが崩れないか
コンパクトシティは人口減少を前提に、拡大した市街地を縮小させ、公共施設、都市施設をコンパクトにまと

県議補選も野党勝利、知事に要望

☆22日投票の県議選北村山選挙区補欠選挙でも初の野党共闘。自民党の暴走と対決する力が更に拡大。

宅介護も施設介護も求められている。「現場」に寄り添って考える」と表明。共鳴し合う懇談となりました。（県議 関 徹）

☆23日、3期目を迎えた吉村知事に新年度予算要望で懇談。私は、高齢者のみ世帯を始め介護力低下で、入院・施設入所のニーズはむしろ拡大していること、国が進める「医療から介護へ」「施設から在宅へ」「介護サービスからの卒業」などは、現実には医療と介護の切り捨てとなることを説明。

知事は、「介護離職の深刻な事例など具体例も承知している」「在



新年度予算要望で吉村知事と懇談(左端が県議=23日、山形県庁)

めるという意味です。居住誘導で問題となるのは、これまでの市民の日常生活やコミュニティ、地域のまとまりが崩れないか、人口激減となる周辺部は自然災害や環境、景観保護、交通弱者対策などがより困難になるのではないかと等です。

人口減少で生み出される空間をゆとりととらえ、公園や道路拡幅など居住環境の改善にあてる等の施策や、合併した旧町村の地域を存続させるために、予算と権限を保障する都市内分権の考え方が大切です。

第10回消防職員意見発表会

最優秀賞は温海分署の齋藤知也さん

12日、鶴岡市消防本部で第10回消防職員意見発表会が行われました。

意見発表会は、消防職員が消防活動に対する考えや提案を一人5分の持ち時間で意見を発表。7人の消防士が意見を述べました。

最優秀賞は、演題「おもてなしファースト」の温海分署消防第一係消防副士長・齋藤知也さん、優秀賞は「海の『ひなどり』」の警備

最優秀に選出された齋藤さんは2月の県大会に出場しました。加藤太一市議も参加しました。

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

- 1月20日入札分
 - ・ 市集落排水事業 羽黒中央地区201号マンホール管 新設工事（羽黒町後田地内）（入札3業者）
 - 日栄産業(有) 15,115,000円（16,078,000円）工期～3/31（落札率94.0%）
 - ・ 市集落排水事業 赤川地区管路施設10-1号新設工事（羽黒町赤川地内）（入札3業者）
 - (株)丸元建設 2,700,000円（2,715,000円）工期～3/17（落札率99.4%）
 - ・ 市集落排水事業 羽黒中央地区管路施設201号新設工事その2（羽黒町後田ほか地内）（入札10業者うち1業者辞退）
 - 加藤建設管工(株) 79,000,000円（82,526,000円）工期～3/31（落札率95.7%）

建築課入札結果（ ）内は予定価格

- 1月19日入札分
 - ・ 鶴岡斎場車寄せ外壁復旧及び軒天改修工事(伊勢原町12番81号)(入札3業者)
 - 中野興建(有) 3,700,000円（3,770,000円）工期～3/10（落札率98.1%）
 - ・ 市本所庁舎非常用電源自家発電機設備整備工事
 - 中止